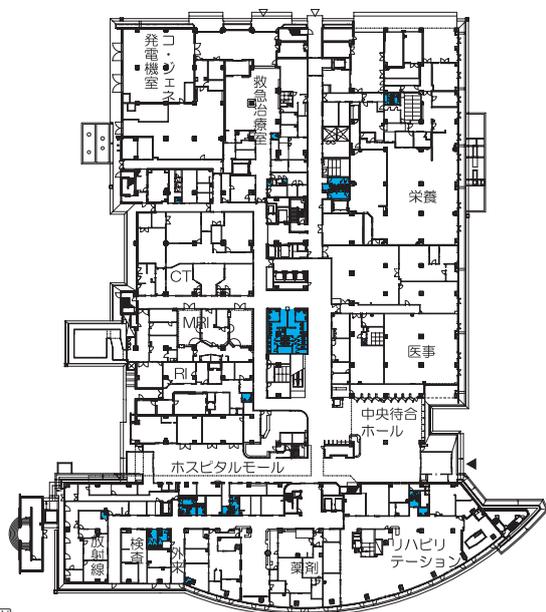


利用者の声と設計者のノウハウを統合した患者さんのためのトイレ

新潟県立新発田病院

設計：山下設計



1階平面図



芝生の広がる公園に接して建つ新発田病院。手前の弧状の建物は新潟県立リウマチセンター。



JR 新発田駅から病院へのアプローチに、「雁木」を思わせるキャノピーが設けられたのは、病院まで駅から傘をささずにすむようにとの配慮。

地域活性化の拠点としての医療施設

新潟県立新発田病院は、既存施設の老朽化、狭隘化と医療需要の多様化・高度化への対応、さらには地域住民の要望を踏まえた救急救命センターの設置にあわせて移転新築したものです。これによって新潟県北部地域の基幹病院となるとともに、リウマチ治療と臨床研究を行うセンター機能を充実するために新潟県立リウマチセンターを併設しています。

敷地は JR 新発田駅前位置し、公園整備地と隣接した豊かな環境に囲まれています。この場所は既存の中心市街と、これから発展が期待される商業ゾーンとの結節点にもあたり、1階に設定されたホスピタルモールは、駅前地区の活性化を促進する役割も担っています。

病院の入り口は、ホスピタルモールとそれに連続する中央待合で構成され、トップライトのある明るい吹抜け空間であり、モールはショップやコンビニ、カフェなどによって町並みのような雰囲気がつくられています。また、モールに面してコミュニティルーム、地域連携室、患者図書室、医療情報コーナーなどが設けられ、医療・健康・福祉に関する情報発信の場として、地域と一体となって機能するように計画されています。

スタッフ動線の短縮は患者さんサービスのため

新たな病院の計画に当たって、県病院局は職員だけで

はなく患者さんからも意見を聞き、集計した結果を新しい病院に反映させるべく、設計者である山下設計とともに検討しました。

新発田病院は1階に総合受付と中央診療ブロックが、2階には多くの外来患者が利用する外来診療ブロックが集約的に配置されていて、わかりやすく利用しやすい配慮が行き届いています。また、救急救命センター機能、手術部門、ICU、CCUなどもスムーズに連携できるよう、4階までの低層部に配置されています。また、5階には管理・医局・会議室などの事務系の諸室が配されています。

なお、1階と2階には和式トイレがひとつずつ設けられています。これは高齢者対応とともに、意見集約の反映でもあります。

病棟は4階に循環器病棟として1病棟、眺望のよい6階から10階にかけて、π字型構成の9病棟478床が配置されました。基本的には中央部に設備コアやカンファレンス、食堂、デイルームを配して、両側にL字型の病室を並べた形になっています。

このレイアウトは機能的で、スタッフの動線が短くなるように計画されています。少しでも不要な移動時間を節約し、その分を患者さんサービスにまわして欲しいという、設計を担当した山下設計東京本社第一設計部部長松丸典義さんの思いでもあります。

また、県側で計画に参加したのは現新潟県新発田病院経



カフェやコンビニのあるホスピタルモールは病院の中に町の賑わいを演出している。ここに面して医療関係の情報発信基地も充実している。



総合受付(奥)と中央待合ホール。いすの背には立ち上がる時の補助のための手すりが設けられている。

営課主査の青木和浩さん。平成9年に完成した上越市の県立中央病院の建設にも携わった経験がありました。「技術の進歩はすごくて以前の知識が通用しません。10年前は病院内の物流が重要なテーマでしたが、今回は電子カルテまでが技術的な課題に含まれました。その上で患者さんのニーズに応えることが大切です」とのお話でした。

リウマチ患者を視野に入れたデザイン

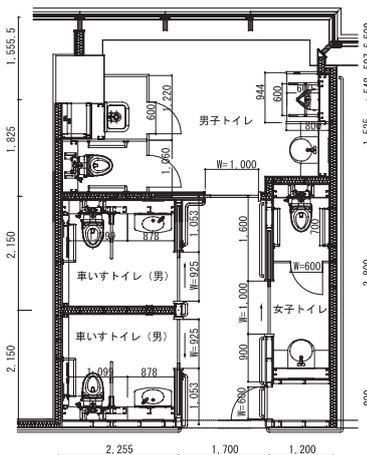
多床室は基本的には個室のデザインとなっており、角度を付けられて配置された4つのベッドと、それぞれに対応して設けられた折上げ天井と間接照明が個室的な印象を強めています。また、窓枠に用いられたアルミと木製の複合サッシは、視覚的にも新潟の厳しい冬の環境を和らげるように考えられて採用されたものです。

トイレの仕様の決定には、モックアップによる検討が医療スタッフ、設計者、建設会社などによって重ねられ、取手の形態や寸法などの細部に至るまで検証されました。とくにリウマチセンターには取っ手すら握れない患者さんがいます。中でも、さまざまな部位について、使用時に必要な力をできるだけ軽減することが大きな課題でした。

トイレの広さについては、車いすが回転できるかどうかを配慮して決定しています。一般病棟のためにつくったモックアップを基本として、リウマチセンターでは少



2階各種検査受付はカラーコーディネートされたわかりやすいサイン計画となっている。



3階トイレ平面詳細図。男子の多目的トイレは左右対称となっている。

し広めとすることによって対応可能であろうとの予測が立てられました。

さらに、便器の位置、便器と手すりとの位置関係、ナースコールの位置など、患者さんにとって安心して使いやすいトイレとするために、多くの検討事項がありました。しかし、これまでの経験から蓄積された山下設計のノウハウと、病院側のノウハウ、患者さんのサポートシステムなどを加えて修正しながら、よりよいトイレ環境が目指されました。

アンケートにこめられた患者さんの願いを反映

トイレは分散型で、いったん病室から出て廊下から入る形式が採用されました。以前の病院も分散型トイレでしたが、病室から直接トイレに入る方式でした。ところが同室の人が気になるという声が多かったことがアンケートの集計結果からわかり、それに対応したためです。

各トイレは車いす利用とともに点滴スタンドを持って入ることを前提として広めに設けられました。また清潔なトイレを維持するために、清掃しやすい壁付けの便器が採用されています。

また、いくつかのトイレには壁に埋め込み式の自動蓄尿装置が設けられました。排尿をカップで受けて装置に入れると、計量され、一部をサンプルとして採取、残りの尿は排水、洗浄されます。短時間で尿を自動的に処理



トイレとシャワーがセットになった個室の水まわり。



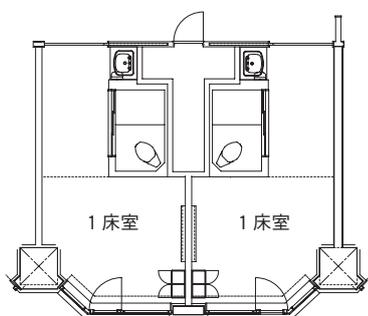
個室のトイレ入口は3枚引き戸が用いられている。



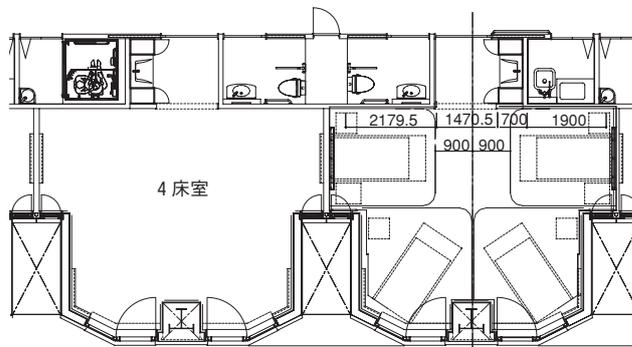
個室のベッドまわり。



多床室の入口に設けられた手洗い。



個室平面詳細図。限られたスペースの中で、便器を斜めに置くことによって、トイレとシャワーを併設している。



多床室平面詳細図。1室に対して廊下からアプローチするトイレがひとつ対応しているが、隣り合わせに左右対称となっている。なお、上部の中廊下を挟んだ反対側の病室にトイレは設置されていない。したがって2病室に対してトイレはひとつとなる。

して、トイレ内に臭いがこもるのを防いでいます。この装置から得られるデータはスタッフステーションのコンピュータとリンクして、検温等のデータとともに電子カルテに反映されます。

多彩な仕様で選択肢を広げる

基本的には4床室2つに対してひとつのトイレが設けられており、隣り合ったトイレで左右の使い勝手などの仕様を変えています。数が少ないのではないかとの意見もありましたが、これまでに設計者が蓄積した具体的なデータと、周囲にも共用のトイレがあるので十分に対応できるとの判断です。また、車いす対応のトイレは1病棟に対して2つ用意され、そのうちのひとつはオストメイト対応となっています。

個室内トイレの基本的な仕様は扉ですが、整形外科の病室に関しては足を曲げられない患者さんもいるため、カーテン仕様も用意されています。また、シャワーとトイレが一緒になったユニットも用意されています。

なお、患者さん用の水栓は感染防止を目的として、病室内も含めて基本的には自動水栓が、スタッフ用には手かざしのセンサー式が採用されています。

新潟県立リウマチセンター

組織的には独立していますが、新発田病院と連携をとりながら運営される新潟県立リウマチセンターが同一敷地内に建設されました。高層の病院棟に対して、低層で円弧を描くように足元まわりを固めており、景観としても周辺環境に配慮していることをうかがわせます。

リウマチセンターのトイレに関する基本的な仕様は病院と共通ですが、患者さんに対する特別な配慮として、便座面の高さが慎重に検討されました。

リウマチの患者さんは関節を曲げるのに苦痛を伴うことが多く、便座は高いほうが楽なので、そのために便座を5cmほど高くしたトイレも用意されています。また、病棟には昇降式便座と自動扉をセットにしたトイレが数カ所に設置されています。

病床数は100床で、そのうちリウマチ病棟は52床、回復期リハビリ病棟のために48床を用意してあります。1床あたりのトイレの数も多く、自動蓄尿装置も設置されました。

リハビリセンターの建物の中には新発田病院附属看護専門学校も併設されて、県北の医療ゾーンを形成しています。



自動蓄尿装置が装備されたトイレ。



子ども連れでも利用できる男女兼用の多機能トイレ。

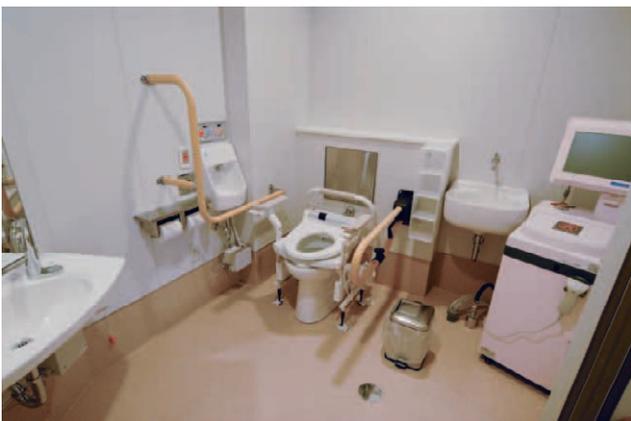


折り畳みベッド、オストメイト用流しが設けられた外来多目的トイレ。

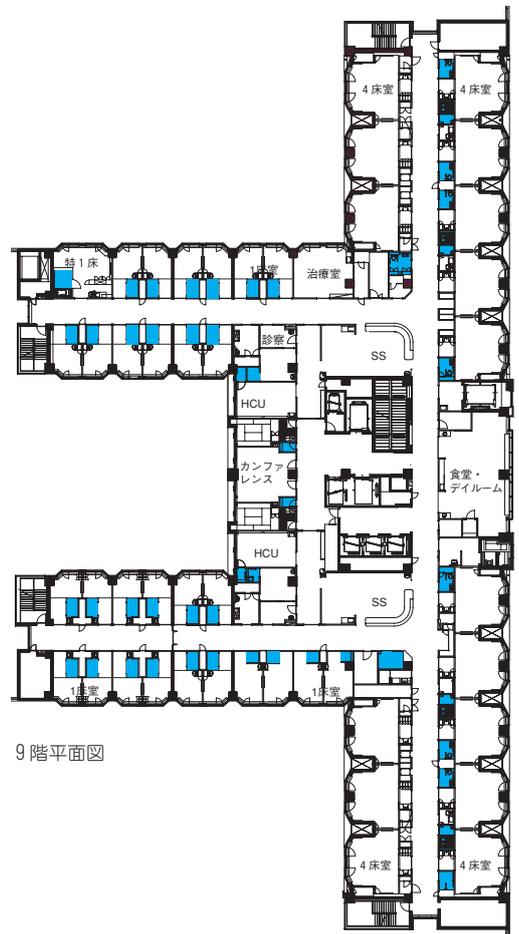


リウマチセンターのトイレ脇に設けられた飾り棚。

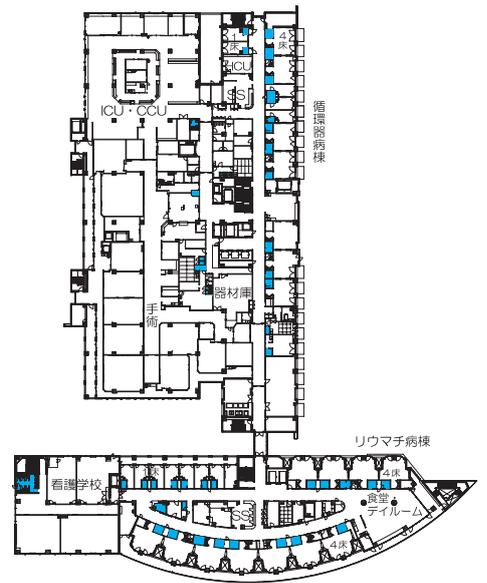
便座の高さの異なるトイレが用意されて、利用者の選択肢を広げている。



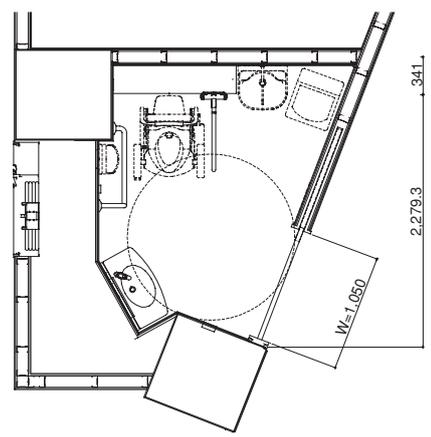
リウマチセンター内に設けられた多機能トイレには自動蓄尿装置、昇降式便座、自動扉などが装備されている。



9階平面図



4階平面図



リウマチセンター内の多機能トイレ平面詳細図